

もっと身近にクラシック in 三好市

平成22年10月12日(火) 18時開場 18時30分開演

東京交響楽団

指揮者：増井信貴



頃安利秀 (テノール) 真鍋美恵 (ソプラノ)

合唱：三好市民第九の会

三好市池田総合体育館

入場料 [全席自由]

一般：2000円(当日2500円)

小・中・高生：1000円(当日1500円)

- 未就学児の同伴・入場はご遠慮ください。
- 市内小中学生(希望者)を対象に、無料入場券を配布しています。



お問い合わせ先
三好市生涯学習課
(電話 72-3900)

三好遺族連合会 戦没者慰霊祭・遺族大会

10月25日(月) 10時～12時30分

三好市池田総合体育館サブアリーナ

お問い合わせ先

三好遺族連合会事務局 (☎ 72-5715 代表 福田)

先の大戦等において、祖国の安泰や繁栄、家族の安全を祈りつつ殉じた方々の御霊に対し、心からの追悼の意を表すとともに、戦争のない平和で豊かな国を維持することを誓い合うものです。

第2回 阿波池田文化フォーラム

10月31日(日) 14時～16時

三好市中央公民館

お問い合わせ先

阿波池田文化フォーラム (☎ 72-5633 代表 田岡)

演題 「大河ドラマ制作について」

講師 NHK制作局ドラマ番組部 制作統括

(大河ドラマ「天地人」チーフプロデューサー)

内藤慎介氏(旧半田町出身)

参加お申し込み先：阿波池田文化フォーラム

☎ 72-5633 (平日9時～18時) FAX 72-1295

第10回 西祖谷文化まつり

10月10日(日) 11時～15時

かずら橋イベント広場小屋掛け舞台

お問い合わせ先

三好市文化協会西祖谷支部 (☎ 87-2235 代表 大西)

日韓交流韓国民俗芸能発表、劇団あわし創作劇発表、村内伝統芸能発表、箏曲・尺八・琵琶演奏、後山襖からくり襖絵発表、市文化協会各支部交流出演、参加者と一体となつての阿波踊り、体験コーナー(屋外共同生け花、野点、そば打ち)

第5回 東祖谷文化祭

10月17日(日) 12時30分～16時

東祖谷民俗資料館伝習ホール

お問い合わせ先

三好市文化協会東祖谷支部 (☎ 88-5001 代表 高橋)

会員によるカラオケ、踊り、民謡の発表と生け花、書道、油絵、俳句、押し花、写真などの展示および、児童生徒作品展の開催また、市内各支部からの出演があります。抹茶を始めとした、喫茶コーナー、祖谷そばなどの軽食、祖谷の土産コーナーもあります。

▼第1回三好市まちづくり条例を考える市民委員会の様子



去る8月26日、「第1回三好市まちづくり条例を考える市民委員会」が開催されました。まちづくり条例とは、市民が主役のまちづくりを進めるための基本ルールを定めるもので、三好市ではこの市民参加の基本ルールを、行政が決めるのではなく、市民委員の話し合いや協議の中から導いていくこととしています。

そして、広くこの委員以外の方の意見を聞き、市内各地域において「市民委員会」を開催する予定です。(市民委員会については、日程等詳細が決まり次第随時ケーブルテレビ

まちづくり条例講演会を開催します

日時 10月2日(土) 10時より

場所 中央公民館大ホール

講師 辻山 幸宣 先生

※参加希望の方は企画調整課までお申し込みください。

お問い合わせ先
三好市企画調整課
電話 72-7607
FAX 72-7202
Eメール kikakuchousei@city.tokushima-miyoshi.lg.jp

ビ等でお知らせしますので、多くの方のご参加をお待ちしています) これからの時代のための、新しいルールづくりとなります。市報等で進捗状況を紹介していきますので、委員会に参加できなかった方も、ご意見をファックスやメールでお寄せください。

市民が主役のまちづくり

まちづくり条例

市民委員会開催



平成22年10月1日 国勢調査を実施します

平成22年国勢調査は、日本が本格的な人口減少社会となって実施する最初の国勢調査で、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。

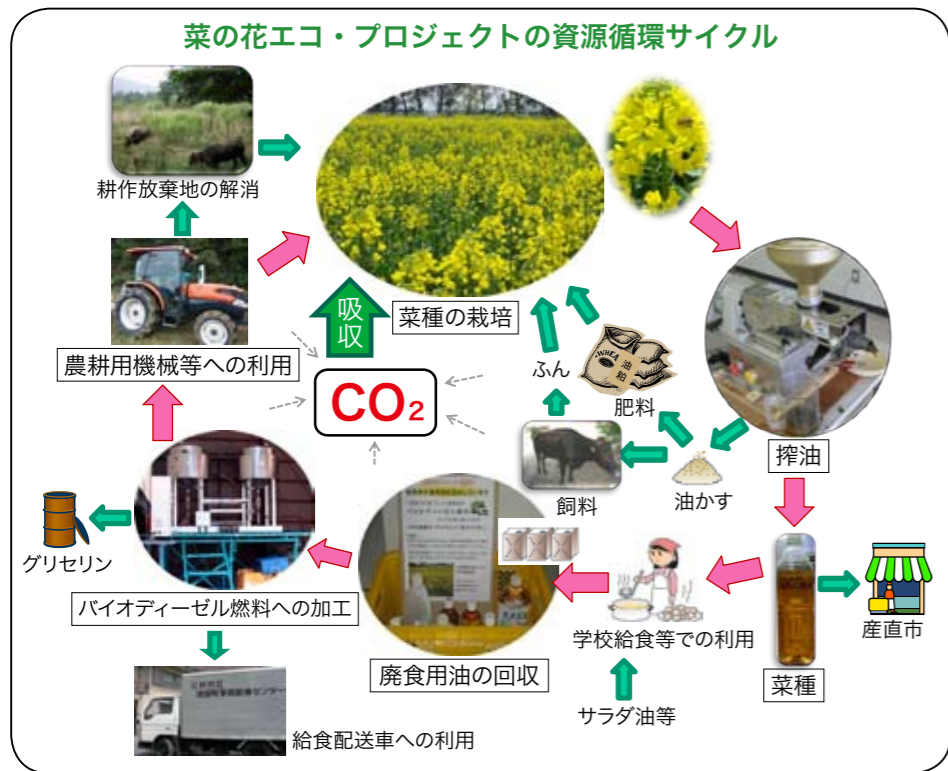
国勢調査は、統計法により、個人情報保護のための厳格な守秘義務が課せられ、調査票の記入内容は厳重に守られます。9月下旬から、調査員が世帯を訪問して調査票を配布いたしますので、調査実施にご協力をお願いいたします。



お問い合わせ先

国勢調査コールセンター (☎ 0570-01-2010)

三好市企画調整課統計担当 (☎ 72-7607)



**菜の花エコに
ご協力ください**
取組みにご賛同いただける方を
募集しています。

「バイオマス」は動植物から生まれた再生可能な有機性資源で、代表的なものに家畜排せつ物や生ごみ、木くず、油脂資源等があります。三好市では「バイオマスタウン構想」を作成し、その実現に向けた取組みに「なたね」というバイオマスを利用して、循環型社会の形成、地球温暖化の防止、地域の活性化を目指しています。

菜の花は、遊休農地等で10月に作付けし、翌年の6月に刈取ります。その「なたね」から搾油して油を作り、家庭や学校給食等に使用し、搾油時に出る油かすは、肥料や堆肥として有効活用します。また、市内の家庭や公共施設で発生する廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料として製造され、市の公用車や農業機械等の燃料として活用しています。

耕作されていない農地の有効利用を考えている方や菜の花の栽培をしてみたい方、バイオディーゼル燃料を使用してみたい方は、環境課までご連絡ください。

お問い合わせ先
三好市環境課
電話 72-3436

にし阿波観光圏 観光フォーラム

【日時】平成22年10月15日(金) 14時 **入場無料**

【場所】三好市池田総合体育館

- ・第一部 講演
演題「観光庁の取り組みとこれから10年先の日本の観光地域」
講師 田端浩氏(観光庁観光地域振興部長)
- ・第二部 パネルディスカッション
テーマ「激論 リーダーが語る10年後の観光地づくり～また訪れたい地域を徹底検証!」
パネラー: 飯泉嘉門氏(徳島県知事)、井門隆夫氏(株式会社ツーリズム・マーケティング研究所 主任研究員)、金井啓修氏(有馬温泉「陶泉 御所坊」社長 観光カリスマ)、江崎貴久さん(三重県鳥羽市 旅館「海月」女将)

コーディネーター: 奥坊一広氏(トラベルニュース社 代表取締役社長)

観光は宿泊観光施設や旅行業のみならず、製造業、交通事業、農林業、サービス業など幅広い分野に波及効果のある裾野の広い産業です。地域の観光資源を国内外に発信し、交流人口を増やし地域経済の活性化をいかに図るかを考えるため、観光事業に従事されている方はもちろん、地域づくりに関心をお持ちの方など幅広いご参加をお待ちしています。

お申し込み・お問い合わせ先
大歩危・祖谷いってみる会事務局 (☎ 87-2171)

【主催】大歩危・祖谷いってみる会 にし阿波観光圏協議会
【共催】徳島県町村会

ごみを減らすために皆様のご協力をよろしくお願いいたします

- ① ごみになるものを家庭に持ち込まない(マイバックの使用、過剰包装を断る)
- ② 家庭から出るごみを減らす(食べ残し、買い過ぎなどに気をつける)
- ③ 何度も使う(詰替商品の使用、不用品はリサイクルショップやフリーマーケットへ)



なぜ今ごみ減量化なの?

ごみ処理施設の老朽化



ごみ処理を行う清掃センターは、稼働から30年近く経過し、老朽化が進み、毎年多くの修繕が必要となっています。また、ごみが増えると、そのごみを処理する費用も増大しますし、処理能力を超えると処理できなくなる恐れもあります。



最終処分場の不足

清掃センターで焼却、破砕されたごみは、最終処分場へ埋立られます。ごみの量が増えるほど、最終処分場は早く満杯に達し、新しい最終処分場が必要となります。新しいごみ処理施設、最終処分場の建設には長い年月と莫大な費用が必要となり、市民の皆様のご生活や、市の財政に多大な負担を強いることにもなりかねません。



リサイクルだけでは難しい



ごみを減らすにはリサイクルは大変重要です。しかし、そのためのエネルギー消費や処理経費の問題や、分別を細かくするほど収集運搬や処理の経費が必要となり、ごみを出さない工夫が求められます。ごみの焼却や処理、リサイクルを行う行程で二酸化炭素等といった温室効果ガスが発生し、地球環境への影響も懸念されます。



祝日のごみ 収集を次のとおり実施いたします

収集日: 9月23日(木) 秋分の日
収集するごみ: 燃やすごみ 収集する地域: 毎週木曜日収集の地域

【注意】

1. 収集するごみ以外のごみは出さないでください。
2. 収集日が木曜日でない地区は収集いたしませんので、ごみを出さないでください。
3. お住まいの地区のごみの収集日をご確認ください。
4. 朝8時までにお出してください。



お問い合わせ先 三好市環境課 (☎ 72-3436)